年頭所感と私の疑問

静岡県管工機材商組合
理事長　丸尾　氣窮雄

新年明けましておめでとうございます。

バブル崩壊以後十数年デフレが進行し底なし沼の経済から一転して物価高騰、鉄鋼を始めあらゆる商品の値上がり、インフレ経済に変貌してまいりました。

中国が世界の生産基地化、世界中の物質を飲み込み高騰の原因になっております。特に原油の投機筋の影響を受け異常な高騰はあらゆる分野にマイナスに波及するのではないかと心配しております。大手企業の収益は改善され、民間投資も活発化してまいりました。しかし私どもの資材を扱う者にとってはゼネコン、サブコンの値下げ要求は異常なほど厳しい状況にあります。

さて世界情勢はイラク問題、北朝鮮問題、イスラエル、パレスチナ問題他難問の山積です。特に民族、宗教問題は深刻化、私は、人類は民族宗教のくびきから逃げられないのか、人類が存在する限り永久に解決できないのか考えさせられる今日この頃です。

宇宙は一五〇億年前のビッグバンから始まり、太陽は約五十億年前、地球は約四十六億年前に生まれたと言われております。我々には想像も出来ないビックバンは一九四六年頃物理学者ジョージガモフが提唱し、ビックバンで発生するだろうと言う理論が、彼の死後次々に現実に証明されました。ビックバン後現在も続いている宇宙膨張がハッブルがドップラー効果で証明、宇宙のヘリウムの偏在、又人類が絶対証明出来ないと言われたニュートリノの海の存在を小柴さんが、又ビックバン二十万年後の明るい宇宙、つまり原子と光と分離、宇宙背景幅射、方向がまちまちの光、電波の宇宙全体に存在等ほゞ全部証明された。又話しは別ですが太陽もあと約五十億年の寿命、地球をのみ込む程膨張し爆発する事も。さて生命生物の歴史は地球上約三十億年前に単細胞生物が発生し、約五～四億年前に生命のビッグバンが始まり。無脊椎や脊椎動物が約四～三億年前に発生、海中からまず植物が上陸し、その後動物が上陸する。約三～二億年前に爬虫類が出現、約二～一億年前に小さなネズミの様な哺乳類が発生、また大恐竜時代を迎える。約六千四百万年前にほとんどの生物が死滅（巨大隕石説）、そこから我々の先祖である哺乳類が大発展する。

人類は四、五百万年前に何らかの事情で一部の猿が直立歩行し、人類の基となる猿が生まれ、直立歩行しているため、前足が手に変化すると同時に重くなる脳を支えることができるため、急速に脳が進化、約六十万年前のジャワ原人、約五十万年前の北京原人、人間らしくなったのはたかだか二、三十万年前、農耕が始まったのは約一万年前であります。恐竜の全盛時代は一億四千万年間続いた。人類は猿人時代を含めてもたかだか三百万年です。

以前新春対談でオリエント研究の第一人者である三笠宮殿下（昭和天皇の弟君）が、旧約聖書は紀元前にユダヤ人の誰かが書いたものだろうとおっしゃられましたが、旧約聖書の中で、エジプトで奴隷化されたイスラエルの民をモーゼが奇跡を起こして脱出させ、神の約束の地を得るため異民族と戦い、その人々が神の命令に反し、異民族を完全に追い払わなかったため神の罰云々・・・とあり、その後やはり紀元前イスラエル全盛期のダビデ王、その子ソロモン王が異民族から妃を迎え、異宗教を認めたため、神が罰として国を南北に裂いた云々・・・何のことはない、現在のイスラエル、パレスチナ紛争は紀元前（神代）より続いていたわけです。

宗教が人類にもたらした貢献救済は大変なものであり、私は宗教を批判するつもりは毛頭ありませんし、偏らない宗教心は持っております。しかし、旧約聖書を元とする、ユダヤ教、キリスト教、またユダヤ教を元とするイスラム教の一神教徒との争い、新旧のキリスト教徒同志の争い、一方的なイベリア半島におけるレコンキスタ運動、十字軍等現在のイスラエル・パレスチナ戦争や歴史上他の宗教においても宗教民族戦争は人の殺し合い等壮絶凄惨なものがあります。

宇宙や生命の発生と長々書いたのは、人類数百万年の歴史からみても次のことを言いたかったためであります。仏教、ユダヤ教にしてもたかだか二千数百年前のことであり、キリスト教にしても、二千年前、、イスラム教に至ってはムハンマド（マホメット）が神の啓示を受けたのは六世紀末であり、その唯一絶対の神アッラーのために自分の尊い命を犠牲にしての自爆テロでイスラム教徒であるイラク人までも無差別に殺している。宗教は人類救済のためではなかったのか。イスラム原理主義、キリスト原理主義等他の宗教においても、信仰心が厚いことが善とみなすことが良いことか、本当に考えさせられます。絶対的真理と言う事で人間を一つの思考の枠にはめ込み、楽な様に他に難しい事は一切考えなくても良い様に、あるいは幅広く考えさせない傾向にあるのではないかと思います。本来人間はものすごく幅広く物を考える優秀な能力を有していると思います。キリスト教のキリストを神の子として、父なる宇宙創造の唯一絶対の神、ユダヤ教の絶対唯一の神ヤハウェ、イスラム教のアッラー、他宗教におけるそれぞれの神は、人類が生まれてくるプロセスのバクテリア、アミーバのような単細胞生命の発生、魚類、両生類、爬虫類、哺乳類と進化し、人類が数百万年前何らかの影響で直立歩行せざるを得ない猿の時代にも当然唯一絶対的な神は、人類らしきものが全くいない時代にも人類が猿の時代にも存在したことになります。旧約聖書をはじめすべての宗教の神話では、すべて共通で神が短期間で宇宙と天と地とすべての生命や人間もちょこちょこと作ったとされている。逆に言えばビッグバンで宇宙が始まった一五〇億年前に神、人類は存在したことになります。神に対する冒瀆と言われるでしょうが、神はそれぞれの人にとって怒せに出来ない絶対的真理だと思います。しかし、歴史的な宗教の成立過程をみるとどの宗教も人類進化（猿・猿人時代）を否定あるいは無視、ふれず、私はどうも人為的と言うか人為性を感じ宗教の名の元に神の名の元に、人が人を殺めて良いものだろうか。

私の思いは短絡的なのか幼稚なのか、語りついでに横道にそれますが、我々は人間の範疇で物事を考えることしかできない。よく地球外生物ETが地球へ云々とテレビ等で放映されますが、私は絶対ありえないと思っております。光の速さ一秒で地球七周半の高速で年、百年、千年と走る乗り物がないと、次の太陽（恒星）系の次の恒星まで届きません。この我々の住む銀河系星雲から一番近いアンドロメダ星雲でさえ、約二百十万光年かかります。しかし地球外生命は百％いると私は思っております。

なぜなら宇宙には銀河系星雲（直径十万光年）の様な星雲が、百億個もあり、また我々が存在していることが証明であります。また地球で生まれた元素はないと言われております。地球の一切の物質、生命はすべての人間も含めて宇宙の星の老化爆発衝突（超新星爆発）で生成された原子、元素から構成されているからです。

さて私は今人間として存在していること、宇宙大自然の絶対的なものの存在はあると思いますし、なければ私の存在もありません。よく日本人は信仰心がないといわれますが、日本人がすべてとは言いませんが、子供が生まれたときやお正月には神社（神道）に参ります。

亡くなったときはお葬式（仏教）、クリスマス（キリスト教）、大晦日には除夜の鐘（仏教）等々、昔から日本人はすべての物に神が宿ると言われ、日本人の宗教観、つまり幅広く物を観て、宗教に対しても寛容さのある人間が多くならないと世界の人類の平和は来ないと思います。

本来神は人々に自由、平等、平和とやすらぎをもたらすものだと思いますが、神代の昔から紛争の種を蒔き散らしているとしか思われない。すべてとは言いませんがユダヤ教徒やイスラム教徒、レコンキスタ、十字軍をみるまでもなく好戦的なキリスト教徒、又イスラム教徒の過去現在をみると神代の昔から平和で安らぎがあるとは思われない。とくにユダヤ教のように一神教の上、神より選ばれた民（選民思想）意識では絶対に平和は訪れないと思います。私は今の日本に生まれ、テレビ時代（一瞬にして世界の出来事がわかる）に生まれ、生活できることを本当に有り難く、感謝しております。今年もよろしくご指導受け賜りたくお願い申し上げます。